

システム運用調査 ソフトウェアメトリックス調査 2017 版発表

本調査は2004年度より開始し、開発、保守、運用の3分野において調査を実施してまいりましたが、今年度（2017版）は「運用」のみを対象に実施しています。このたび、4月下旬の報告書発刊に先立ち、調査結果のトピックスをご紹介します。

■調査概要

調査期間は、2016年11月16日～2016年12月16日。JUAS会員企業を中心に調査を実施し、ユーザー企業を中心に157件の回答を得て、分析、報告の対象とした。さらに、このうち運用役務コストに着目し、欠落・不整合を含むデータを除外した78件については相関分析を実施した。

■調査結果概要

（添付図表参照）

2016版から提供している、「JUAS：IT運用コストモデル」を精査し、調査を行った。

(1) 運用コストおよび周辺項目の相関分析

運用コストの見積もりや多寡の評価に資することを目指して運用役務コスト関連の値と周辺の関連する項目（運用設備系コスト、管理指標の候補となる諸数値等）の相関を分析し、主なコスト項目については近似式を提示することができた。

(2) 回帰分析以外のアプローチ

回帰分析を中心に一定の関係性を見いだせたが、調査データの別の活用方法として、調査データの比率の分布状況を利用する方法についても提案している。

(3) 運用コスト適正化のための取り組み

運用コスト削減策の分類し各社の取り組み状況の調査を行った。各社の実施状況と効果との関係を示すことで、コスト最適化具体策のヒントとしていただきたい。

※調査結果は、添付図表をご参照ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 担当：五十井（いかい）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-8 新堀留ビル8階

電話：03-3249-4101（平日10時～17時） 電子メール：swm-juas@juas.or.jp